

大阪教育大学

ヴィジュアル・アイデンティティ マニュアル

Osaka Kyoiku University

Visual Identification System Manual

2010 | 4



はじめに

本冊子は、平成 21 年 11 月、大阪教育大学開学 60 周年（創基 135 周年）を記念し策定された大阪教育大学新ロゴマーク・ロゴタイプ・基本色（以下、これらを総称して「基本要素」と呼ぶ）の概要及び使用上のルールをまとめたものです。

「基本要素」を、本冊子で示したルールに従って適切に運用することで、本学のヴィジュアル・アイデンティティの確立をめざします。

本学の広報物だけでなく、各種報告書、ウェブサイト、プレゼンテーション用映像、グッズ類、看板等に至るまで、本学の「基本要素」が使用される全てのケースにおいて本マニュアルをご活用ください。

大阪教育大学ロゴマーク等策定委員会
企画課広報室

Contents

2	はじめに
	基本要素の紹介
4	1-1 ログマーク
5	1-2 ログマーク・ネガ版
6	1-3 ログタイプ
7	1-4 基本色
8 / 9	1-5 基本要素の組み合わせ
	基本要素の展開
10	2-1 使用申請から報告まで
11	2-2 基本要素の配置について
12	2-3 背景に応じた基本要素の扱い方
13	2-4 基本要素の加工について
14 / 15	2-5 使用禁止例

1-1 ロゴマーク

- ロゴマークは、「大学ロゴマーク」と、「グッズ用ロゴマーク」の2種類が商標登録されています。通常は「大学ロゴマーク（左側）」を使用してください。
- マークの拡大・縮小は自由ですが、縮小する場合は、マーク中央部分「大學」の可読性や、卵のシルエット内側の白抜きラインが潰れない程度までに留めてください。
- 大学ロゴマークに適用出来る色は黒（スミ）、基本色（えんじ）に限定します。但し印刷時に使用色数の制限等、特殊な事情がある場合は、適宜判断して色を決めて構いません。

- グッズ用ロゴマークについては、色の制限を設けません。グッズの商品力を高める色を自由に選択してください。
- 本ロゴマークは、白または淡色を背景とする場所への配置を前提としています。黒や濃色等を背景とする場所へ配置する場合は、次項ネガ版のロゴマークデータを使用してください。
※背景については、12頁「2-3 背景に応じた基本要素の扱い方」を参照してください。
- 企画課より提供されたマークのデータ改変は基本的に禁止します。
※但し、一部のケースでマークの若干の加工を認めます。詳しくは13頁「2-4 基本要素の加工について」をご覧ください。



大学ロゴマーク



グッズ用ロゴマーク



マーク内の構成要素（輪・ふたつの手・大學）は基本的に白で表示します。（図A）但し、印刷手法の関係上、左図Aの再現が難しい場合は、左図Bでの表示を認めます。その場合、別途構成要素をくり抜いたロゴデータを使用してください。

1-2 ロゴマーク・ネガ版

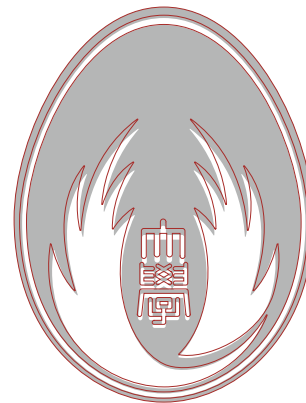
●背景が濃色の場合、または黒や基本色と調和しない背景色の場合、通常のロゴマークとは別に「ネガ版ロゴマーク」を使用してください。

●通常のロゴマークをそのまま反転させると、マークの構成要素が痩せ細って見えてしまいます。

ネガ版ロゴマークは、右図のように、各構成要素を若干拡大しています。

※薄いグレーが通常のロゴマーク、赤線がネガ版ロゴマークのラインです。

●ネガ版ロゴマークは、あくまでロゴマークを白抜きで表示するためのデータです。白（紙色）以外の色は使用出来ません。



●ネガ版ロゴマークの黒色部分は、全て透明となり、背景が見える状態となります。

1-3 ロゴタイプ

●ロゴマークと大学表記を組み合わせて使用する場合は、必ず本ロゴタイプを使用してください。

※文中や見出し等で「大阪教育大学」「Osaka Kyoiku University」と表記する場合は、適宜使用書体を決めて構いません。

●ロゴタイプ和文表記はモリサワ・フォーク M 及びフォーク B、英文表記はライノタイプ・Optima bold を使用しています。

●本ロゴタイプは、文字同士の間隔の微調整を行っているため、同書体を用いてのロゴタイプの自作は控えてください。

●縮小する場合は、「国立大学法人」部分の可読性に注意してください。

●ロゴタイプに適用出来る色は黒（スミ）、白（紙色）基本色（えんじ）に限定しますが、印刷時の使用色数の制限等、特殊な事情がある場合は、適宜判断して色を決めて構いません。

※ロゴマークは別途ネガ版のデータを用意していますが、ロゴタイプは背景色に応じて白を適用してください。

●配色以外でのマークのデータ改変は基本的に禁止ですが、一部加工は認めます。詳細は 13 頁「2-4 基本要素の加工について」をご覧ください。

大阪教育大学

国立大学法人

大阪教育大学

OSAKA KYOIKU
UNIVERSITY

国立大学法人
大阪教育大学

OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

1-4 基本色

●本学のアイデンティティを示す色である「基本色」には、従来からの本学の伝統色である「えんじ色」が与えられています。(但し、本来のえんじ色よりも若干鮮やかで、若々しさがイメージされる赤を選んでいきます。)

●ロゴマークやロゴタイプを(黒色以外の)カラー表記する場合は、必ずこの基本色を用いてください。

※グッズ用ロゴマークは除く

●大学から発信される各種広報物、報告書、ウェブサイト、またはグッズ等全てに対して、この「えんじ色」の使用を強要するものではありません。

しかし、ロゴマークやロゴタイプと並ぶ本学の象徴として、この基本色の活用を推奨します。



Dic 305 第19版 (deep red)

C 40% M 96% Y 96% K 0%

R 167 G 44 B 41

web # A72C29

1-5 基本要素の組み合わせ

●ロゴマークとロゴタイプの組み合わせは、以下の7セットを用意しています。この7セット以外の組み合わせを独自に作成することは禁止します。

※組み合わせのバリエーションは追加・変更されることもありますので、使用される際には必ず企画課より交付されるデータリストをチェックしてください。

※7セット以外の組み合わせによる使用を希望される際には、10頁「2-1 使用申請から報告まで」を参照して、所定の審査を受けてください。

●各セットの拡大・縮小は自由ですが、文字の可読性には充分配慮してください。

※ロゴマークとロゴタイプを個別に拡大・縮小することは禁止します。セットごとの大きさの比率や位置関係には変更を加えずに拡大・縮小を行ってください。

●縦横比、線や文字の太さ、間隔その他一切のアレンジを禁止します。



国立大学法人
大阪教育大学



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY



OSAKA KYOIKU UNIVERSITY



OSAKA KYOIKU
UNIVERSITY



国立大学法人
大阪教育大学

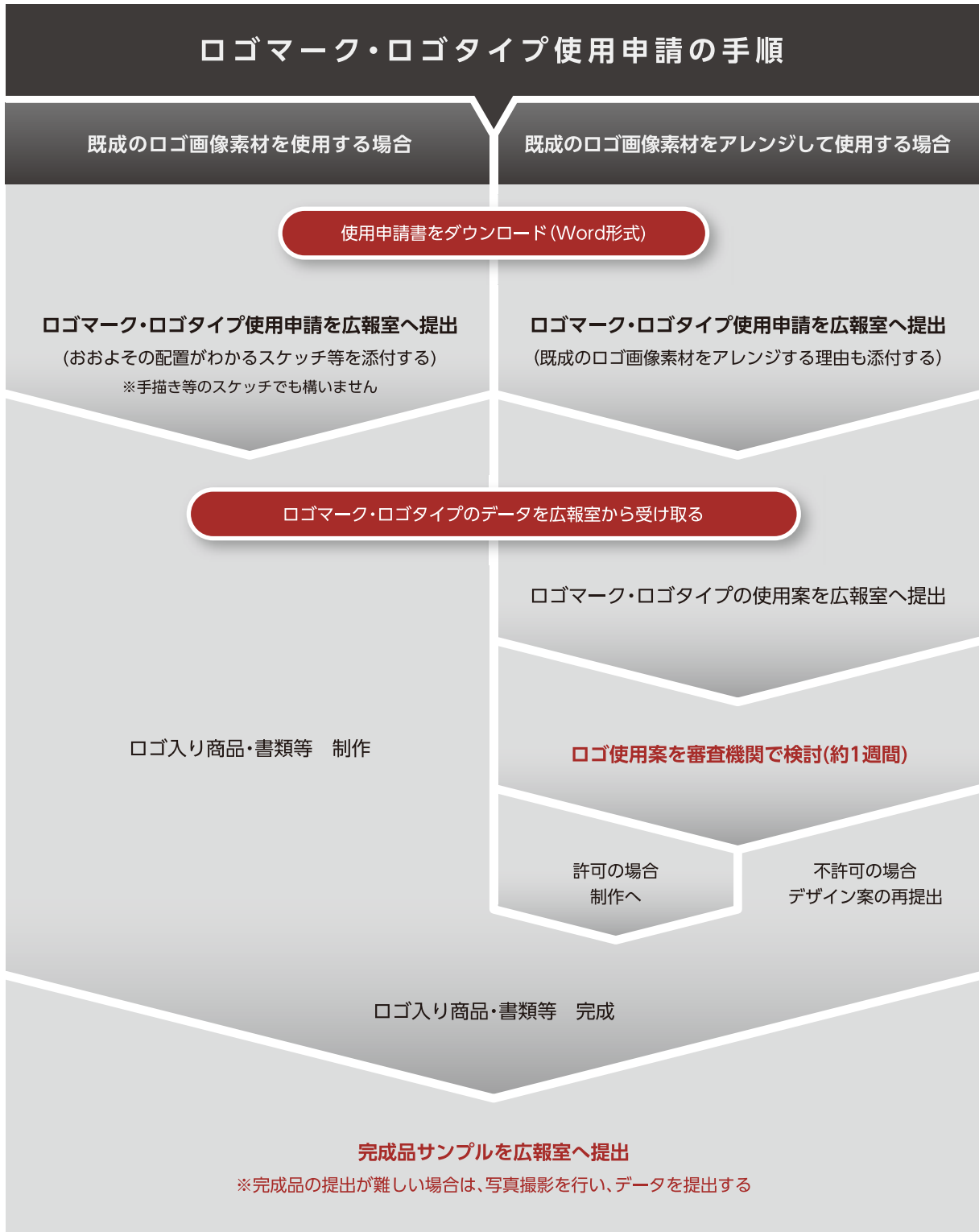


国立大学法人
大阪教育大学



OSAKA KYOIKU
UNIVERSITY

2-1 使用申請から報告まで

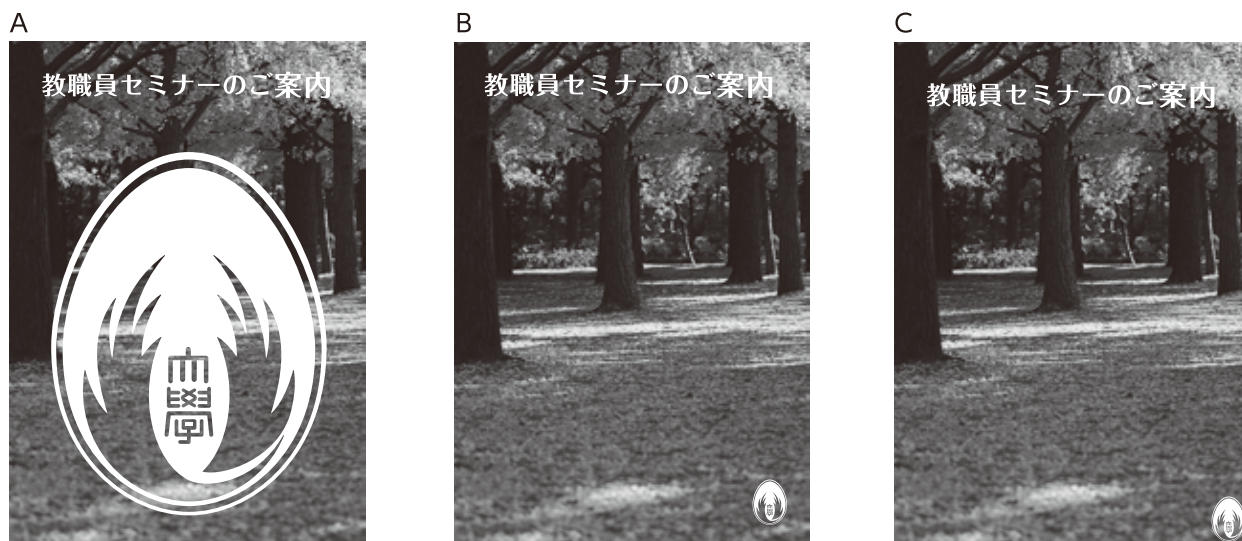


※ロゴ使用申請の提出からロゴデータをお渡しするまで、1週間程度かかる場合があります。

※ロゴ使用例(書類、パワーポイント等)のテンプレートは、以下のサイトでダウンロードできます。ご活用ください。

<http://osaka-kyoiku.ac.jp/university/kikaku/logo/index.html> (随時更新しています)

2-2 基本要素の配置について



A～Cのロゴマーク配置案を比較してください。

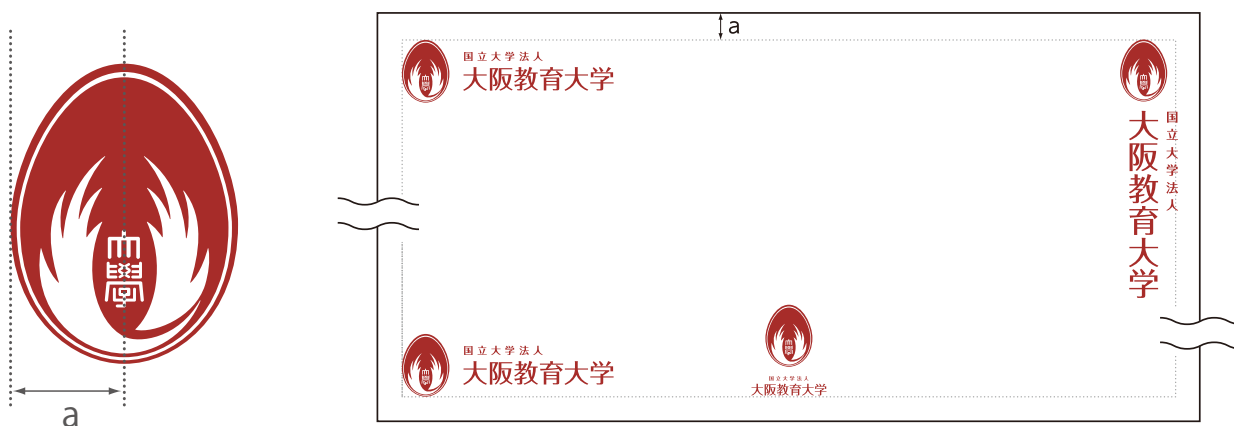
A案は、とてもインパクトのある画面ですが、写真、タイトル、マークの各要素が画面内でぶつかり合い、調和に欠けるデザインといえるでしょう。

ロゴマークは、小さく表示しても存在感が得られるようデザインしています。故に、A案のように大きく用いると、主張が強すぎるため、どこことなく騒々しい印象を与えてしまいます。ロゴマークを冊子の表紙やポスター等に配置する場合は、B案のような、控えめな配置が一般的かつ適切です。ここで注意すべき点は、マークの周囲に一定の空間を与えることです。

C案は、ロゴマークの周囲に十分な空間が与えられておらず、(B案と比較して)卵形のシルエットが判りにくくなっています。また、どこことなく自信の無い、弱々しい印象を与えかねません。

ロゴの周囲に一定の空間を確保することにより、卵形のシルエットも明快となり、小さいながらも堂々とした印象を与えます。

※本冊子表紙のように、マークに若干の加工を施し、配置を工夫することで、イメージイラストとして使用することも可能です。マークの加工については13頁「2-4 基本要素の加工について」をご覧ください。



あくまでひとつの目安ですが、配置するマークの幅の $\frac{1}{2}$ 以上の余白を周囲に確保するよう配置してください。但し配置場所によっては、この余白を確保しない方が良い場合もありますので、適宜判断してください。

※上記配置例は、周囲の空間の取り方について示したもので、配置場所によるマークとタイプの組み合わせパターンを指定するものではありません。

2-3 背景に応じた基本要素の扱い方

◆背景の濃度について

背景の色相・明度によっては、基本色のえんじ色が明瞭に認識出来ない場合があります。背景色の明度をアミ点製版の濃度パーセントで表したものが右の表です。

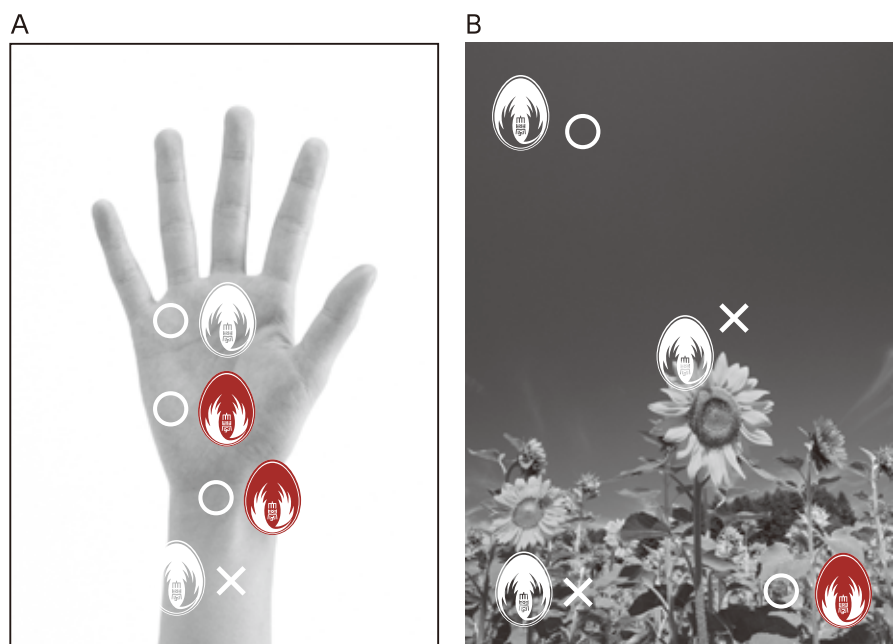
背景が黒やグレーの場合、濃度に関係なくえんじ色は映えますが、赤やオレンジといった同系色が背景で、かつ濃度が一定以上高い場合は、必ずネガ版を利用してください。
※斜線箇所は背景とロゴマークの関係が不適当な例です。

	20%	40%	60%	80%	100%
Red background					
White background					
Red background					
White background					

◆写真が背景の場合

背景が写真の場合、ロゴマークが明瞭に認識出来るよう、通常タイプもしくはネガ版を適宜使い分けてください。

但し、ネガ版のロゴマークを用いる際には、特に背景の状態に注意が必要です。A 図手首付近のネガ版ロゴのように、形状が欠けて見えるレイアウトや、B 図のひまわり付近のネガ版ロゴのように、複雑な図像がロゴマークと重なる場合、ロゴマークの形状が明瞭に認識出来ない場合があります。ネガ版ロゴを用いる際には、出来るだけ変化の少ない図像の上に配置するよう心掛けてください。



2-4 基本要素の加工について

基本要素（ロゴマーク及びロゴタイプ）の加工については以下の処理のみ認めます。

- トリム（切り取り）
- 半透明処理（もしくはそれと同等の効果が得られる処理）
- ドロップシャドウ

これらデータの加工を行う際は、ロゴマーク及びロゴタイプの品位や造形性を損なう処理にならないよう、注意してください。

【重要】 基本要素を加工した場合、正式な基本要素も同時に掲載してください。

※下図中央及び右側の画像の右下隅のように、正式なロゴマークあるいはロゴタイプを配置してください。

※正式な基本要素は、加工されたものと同一画面上、もしくは容易に確認出来る箇所に配置してください。

【重要】 これらの加工を行う場合は、通常の使用申請で構いません。



◆トリム（切り取り）処理

上の3点を見比べてください。BやCはロゴマークの一部が切り取られて配置されているため、Aと比較して、ロゴマークとしての記号性が薄れ、マークを構成する各要素の造形がより強く意識されます。トリム処理によって、ロゴマークの造形性を活かしたデザインの展開が可能です。

◆ドロップシャドウ

頻繁に目にする処理方法ですが、適切に使用出来ないため、文字の可読性や造形性を損ねているケースが多々見られます。

右図の下のように、影は薄め、ぼかし幅や影の移動量が僅かであっても立体的な効果は得られ、なにより可読性が損なわれません。

ドロップシャドウ処理は、控えめな適用を心掛けてください。

◆半透明処理

ロゴマークは輪郭を鮮明に表現するため二階調で作成されています。故に、拡大して配置すると、その輪郭線のコントラストが強すぎて騒々しい印象を与えます。そこで、Cのように半透明処理を施すことによって、コントラストを弱め、全体の印象に落ち着きを与えます。

大阪教育大学

大阪教育大学

2-5 使用禁止例



国立大学法人
大阪教育大学

縦横の比率を変える



国立大学法人
大阪教育大学

要素の一部に拡大・縮小等の
変形を加える



国立大学法人
大阪教育大学

要素の一部を省く



国立大学法人
大阪教育大学

要素に図形・記号・文字等を
組み合わせる



国立大学法人
大阪教育大学
○○係

要素の近くに図形や記号
文字等を配置する
※注1を参照して下さい



国立大学法人
大阪教育大学

部分的な色変更



背景にコントラストの強いパター
ン等を配置する
※注2を参照して下さい



国立大学法人
大阪教育大学

輪郭処理をする



国立大学法人
大阪教育大学

傾ける、転がす



国立大学法人
大阪教育大学

グラデーション処理



国立大学法人
大阪教育大学

パターン処理



国立大学法人
大阪教育大学

ぼかし処理



3D処理



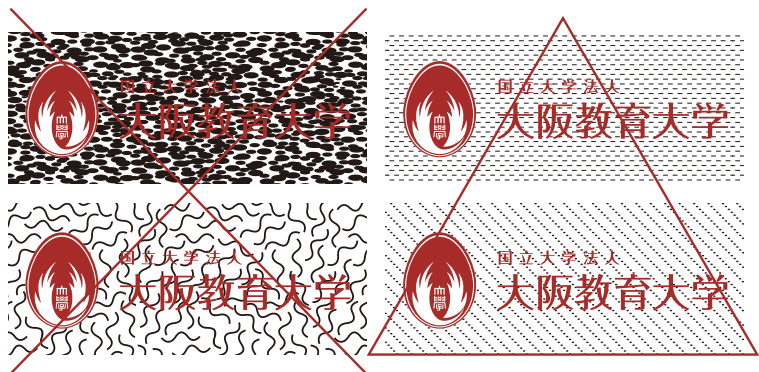
国立大学法人
大阪教育大学

遠近処理・歪み等

注 1) 右図のグレー部分は、基本要素全体を囲む最小の長方形であり、文字や記号、図形等を一切配置出来ない領域を示しています。
 この配置禁止領域に関する考え方は、全ての基本要素について共通です。
 ※ 11 頁「2-2 基本要素の配置について」で述べた余白の確保は、あくまで「推奨」ですが、右図のグレー部分についてはいかなる要素も配置しないでください。



注 2) 背景に相応しくないパターンとは、基本要素の認識を著しく妨げるものです。(×印の例)
 一方、基本要素がある程度認識出来るパターンを背景に据えることについては、デザイン上やむを得ない場合に限り認めます。(推奨はしないので△印とします)
 背景は「無地」「淡色」を原則とします。



注 3) 右図のように、「大學」の文字内の塗り忘れミスが度々発生しています。小さな要素ですが、マークの中央部分にあたる為、非常に目立ちます。注意してください。



大阪教育大学 ヴィジュアル・アイデンティティ マニュアル

企画 — 大阪教育大学ロゴマーク等策定委員会・企画課広報室

編集 — 江藤 亮（大阪教育大学 芸術講座）

発行 — 大阪教育大学企画課広報室

発行日 — 2010年4月1日

基本要素や運用ルール等に関するご意見、ご要望、その他お問い合わせ先

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

大阪教育大学 企画課広報室

tel . 072-978-3344

mail . kouhou@bur.osaka-kyoiku.ac.jp